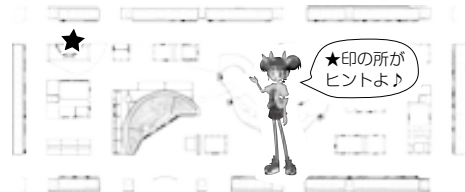
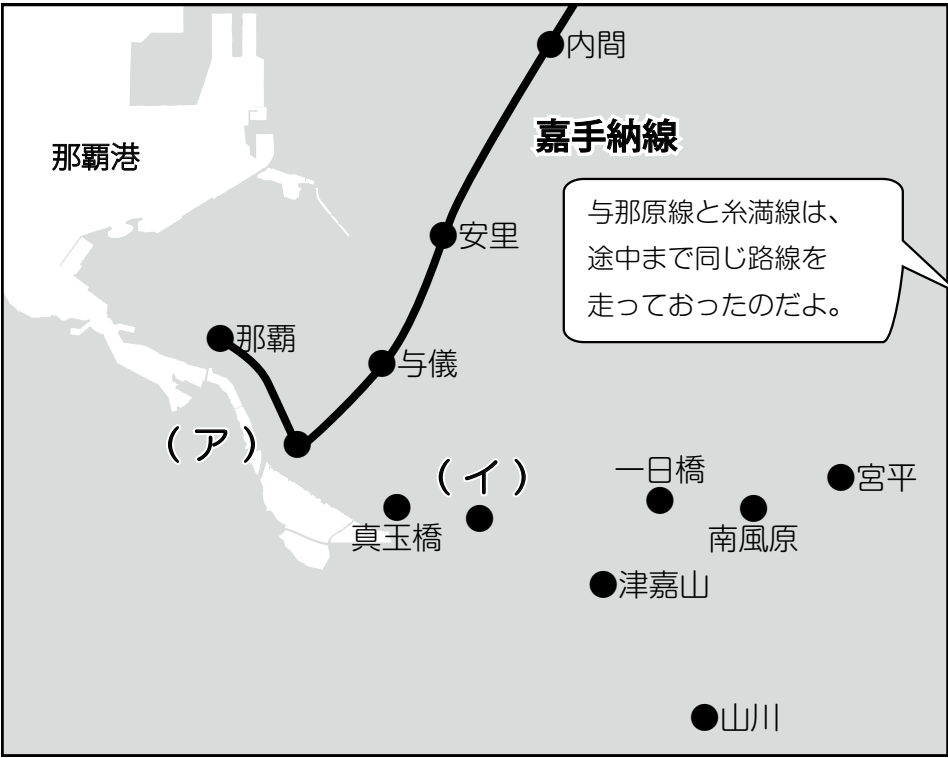


37 軽便（ケービン）鉄道の旅



1914年から1945年まで、沖縄には鉄道が走っていました。線路の幅が日本本土の鉄道（狭軌）より少し狭かったため、軽便鉄道（沖縄の方言ではケービン）と呼ばれていました。



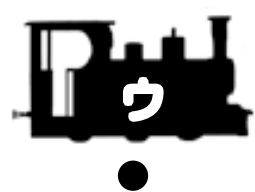
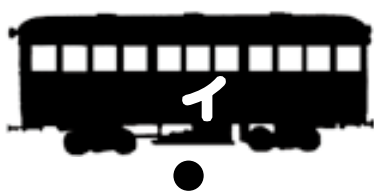
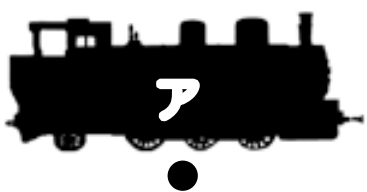
琉球 沖縄	日本
旧石器時代	旧石器
縄文時代	縄文
並行期	弥生
	古墳
	飛鳥
グスク時代	奈良
	平安
南山時代	鎌倉
	南北朝
琉球王国時代	室町
	戦国
	桃山・安土
沖縄県 おきなわけん	江戸
	明治
統治時代 アメリカ	大正
	昭和
新生沖縄県	平成

1. 上の地図は軽便鉄道の駅を示しています。
地図中に与那原線の線路を実線——糸満線の線路を破線-----で書きこみましょう。

2. 地図中のアとイの駅名を答えましょう。

ア（ ） イ（ ）

3. 下のア～ウの機関車は、どの路線を走っていたのでしょうか。答えを線で結びましょう。



●
●
与那原線

●
●
嘉手納線

●
●
糸満線

4. 下の表は糸満線と嘉手納線の時刻表です。この時刻表を見て、A、B二つの問いに答えましょう。

糸満線の時刻表						
喜屋武 発	山川	津嘉山	国場	真玉橋	古波蔵	那覇
運賃	4 銭	6 銭	8 銭	10 銭	13 銭	15 銭
13 時 39 分	→ 13 時 46 分	→ 13 時 51 分	→ 13 時 57 分	→ 14 時 01 分	→ 14 時 08 分	→ 14 時 12 分
16 時 05 分	→ 16 時 12 分	→ 16 時 17 分	→ 16 時 25 分	→ 16 時 29 分	→ 16 時 37 分	→ 16 時 41 分
18 時 00 分	→ 18 時 07 分	→ 18 時 12 分	→ 18 時 19 分	→ 18 時 23 分	→ 18 時 30 分	→ 18 時 36 分

嘉手納線の時刻表						
那覇 発	古波蔵	安里	城間	大山	桑江	嘉手納 着
運賃	4 銭	8 銭	17 銭	28 銭	34 銭	45 銭
14 時 22 分	→ 14 時 29 分	→ 14 時 40 分	→ 14 時 58 分	→ 15 時 22 分	→ 15 時 35 分	→ 15 時 55 分
16 時 32 分	→ 16 時 39 分	→ 16 時 50 分	→ 17 時 08 分	→ 17 時 32 分	→ 17 時 45 分	→ 18 時 05 分
18 時 46 分	→ 18 時 53 分	→ 19 時 04 分	→ 19 時 22 分	→ 19 時 46 分	→ 19 時 59 分	→ 20 時 19 分

A 喜屋武駅を16時05分に出発する列車に乗って出発した場合、最短で嘉手納駅には何時何分に到着しますか。

_____ 時 _____ 分

B 喜屋武駅から嘉手納駅までの運賃はいくらでしょうか。

_____ 銭

5. 軽便鉄道は、なぜなくなってしまったのでしょうか。

沖縄にも鉄道が走っていたんだね♪

